

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人さんさんくらぶ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ニュータウン市民の自然体験を深化させる「里山ピオトープ」の造成

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

人工的な環境に住む都市市民の自然体験を、単に「美しい自然に親しむ」という段階からもう一段階深めるために、自然の全体性や生き物の相互連関を感じ取ることのできる「ピオトープ」を造営して総合的な自然学習を追求する。この活動を広く市民に呼びかけ、子どもから高齢者まで幅広い年代層の協力のもとに進める。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

町田市小野路の里山の一角に水田を核にした本格的なピオトープを造成することを目標に、①専門家の協力を得て現地の生物調査や水質調査を行い、②町田市小野路町の新明谷戸など先進地を見学して計画づくりを進めた。他方で③多摩ニュータウンの住民に呼びかけて、都市の自然環境やピオトープに関する勉強会と現地の見学会を開き、④有志を募ってピオトープ造成の活動を段階的に行った。その進捗状況に合わせて⑤自然観察会(ホテルの鑑賞、雑木林の探訪)、多摩市一本杉公園の窯を使った炭焼き活動を行い、大人も子どもも楽しめるダイナミックな活動を展開して、自然と人間の関わりをともに体験して分かちあうことを目指した。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

人間が自然の営みを生かしながらその恵みを引き出し、活用してきたことを理解することに力点を置いた。手作りで無農薬の谷戸の田んぼづくりに取り組み、安全でおいしいコメを収穫して、餅つきを楽しんだ。田んぼにはホテルが現れ、初夏の幽玄な一夜を多くの人々に紹介できた。谷戸の一角に作った池にはドジョウやヤゴなどの小動物が繁殖した。雑木林の木を伐って炭を焼く技術を学ぶために、まずは焚火と空き缶で作る「花炭」で炭焼きの原理を体験し、ついで一本杉公園の炭焼きクラブに参画させてもらって、本格的な炭焼き体験を得ることができた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

雑木林の尾根とトンボや畑のある谷で構成される「谷戸」は、多様な植物相が繁栄し、昆虫や魚や小動物が織りなす小さな宇宙であることを実感した。人間はさまざまに連関する自然の営みに参加して自らの生きる糧を得てきたのだということがよく分かった。谷戸の米は収量は多くないが、美味しく食べられたし、副産物としての藁はさまざまな用途に使い、縄を編んだり園芸の材料としても活用できた。炭焼き活動は手間はかかるが、雑木林を保全しながら活用する、すぐれた技術であることを知ることができた。ピオトープの池にメダカを呼び戻すことを目指したが、残念ながら成功しなかったため、これは今後の課題としたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

□ ネムの里・田植え □





<炭出し>

